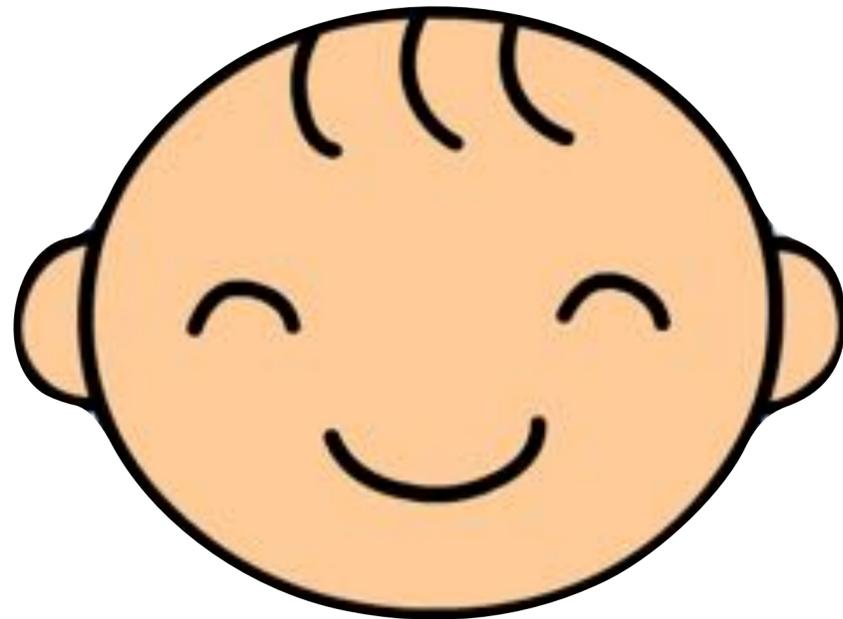


「自分のことは自分で！」 という思いを支え  
生活を豊かにするための工夫

赤嶺太亮

沖縄県立大平特別支援学校

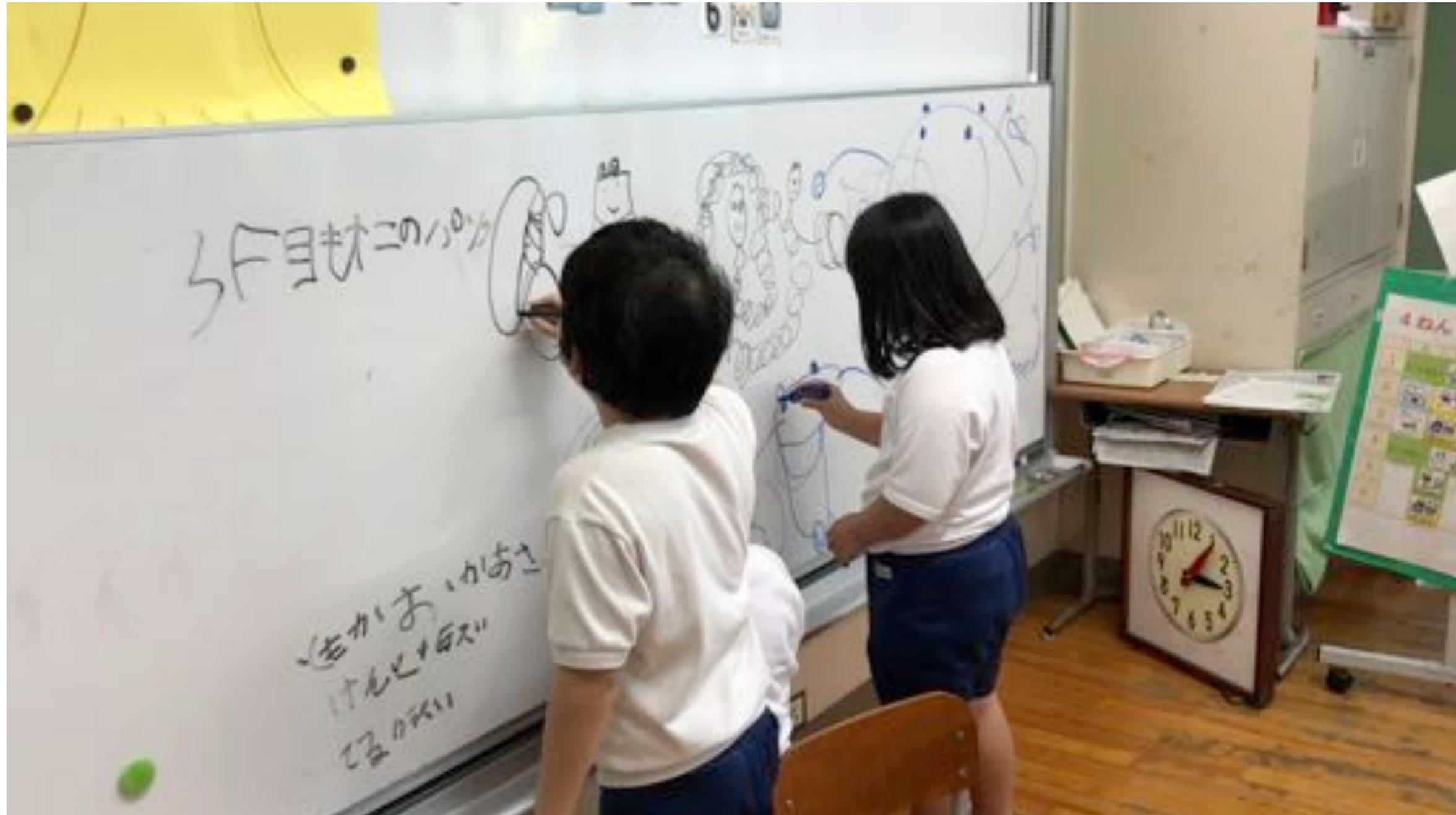
## 対象児Aさん



- 小学部4年生男児
- 中等度知的障害を伴う自閉性
- 5W1Hなど日常的な会話に特に問題はない
- とても明るく教師や友達と積極的に関わる

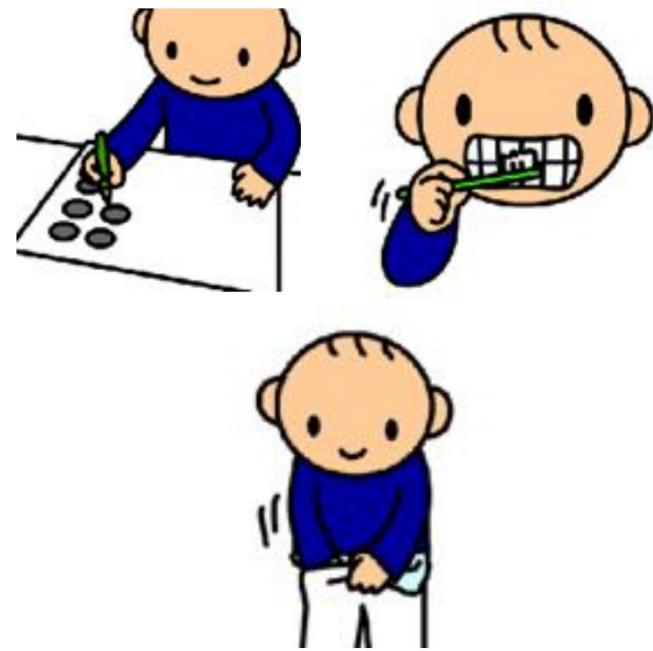
## Aさんが好きなこと・得意なこと

- ・先生や友達との関わりが大好き、学習場面での発言も多く、学級をリードできる
- ・数字が大好き！それがAさんの強み



# Aさんが難しいこと、困っていること

些細な刺激に対して**注意がそれやすい**



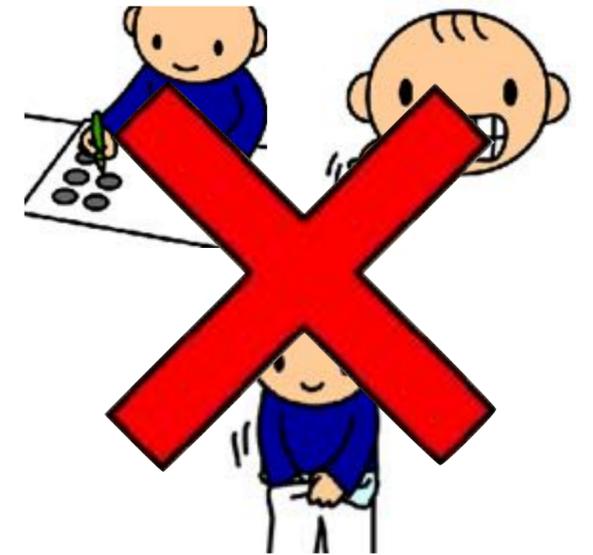
時間がないよ～！



活動しながらも  
注意がそれ時間がかかる



遊ぶ時間が  
なくなった



やるべきことが  
中途半端

# Aさんが難しいこと、困っていること

5月初旬 登校してもなかなか支度を始めないAさん

## 動画

周囲の友達や遊びに注意がそれて  
着替えが終わるまでに20分間かかる様子

# Aさんが難しいこと、困っていること

家庭生活でも・・・



何かと時間がかかり  
お風呂に入られなかった



何かと  
忘れ物が多い

## Aさんが難しいこと、困っていること

わかってるけど  
つい忘れてしまう



時間がないよ～！



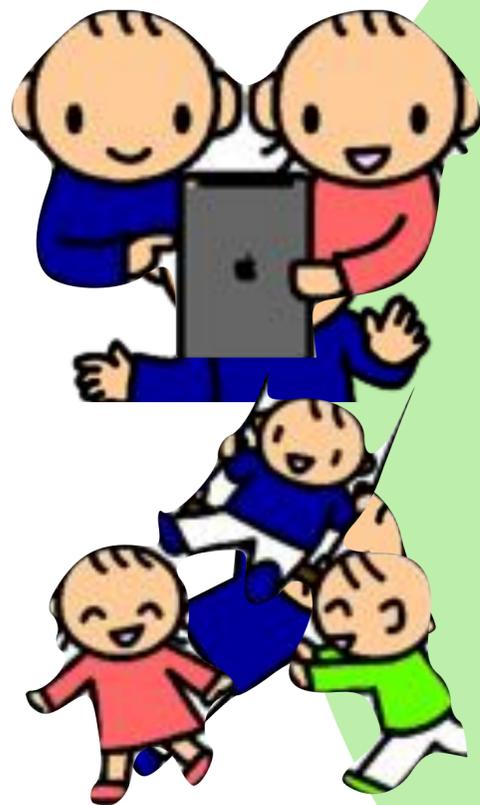
結局いつも周りの大人が助けてくれる。何となく上手くいってるし、だから大丈夫！今日も学校って楽しかったー！あ、でも自分のことは自分でやらないとって気持ちだって少しはあります・・・。



**困り感に気づいていないことが困り感**

# 今年度の指導のねらい

## Aさんの目標



自分自身の長所や困りに気づく

困りに対する必要な支援（ICTでもアナログでも）を知って、それをツールとして注意の散漫さを補い「自分のことは自分で」ができるようにする。

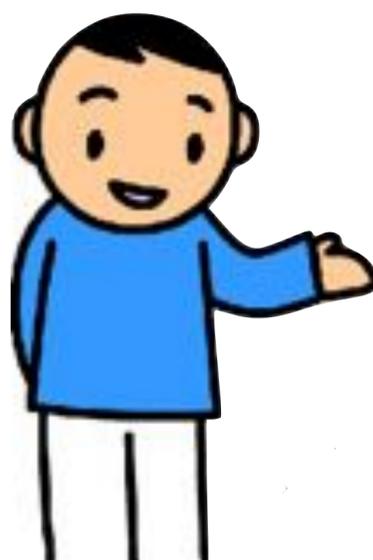
# 指導の様子

## 指導の様子

Aさんが数字が大好き、それが彼の強み！！

まずは、朝の支度でタイマーを使うことを提案してみた

自分でタイマーをセットして  
時間内に支度をしてね



えっ・・・別にいいです  
(そこまでしなくていいし  
自由にやりたいよ)



タイマーを使うことを納得しないAさん

## 指導の様子

納得しないAさんに対して「支度が終わられない」動画を見せてみた



うーん  
何もやってないじゃん！



タイマーを使うことを納得！！

## 指導の様子

5月下旬 タイマーをセットして支度にとりかかる様子

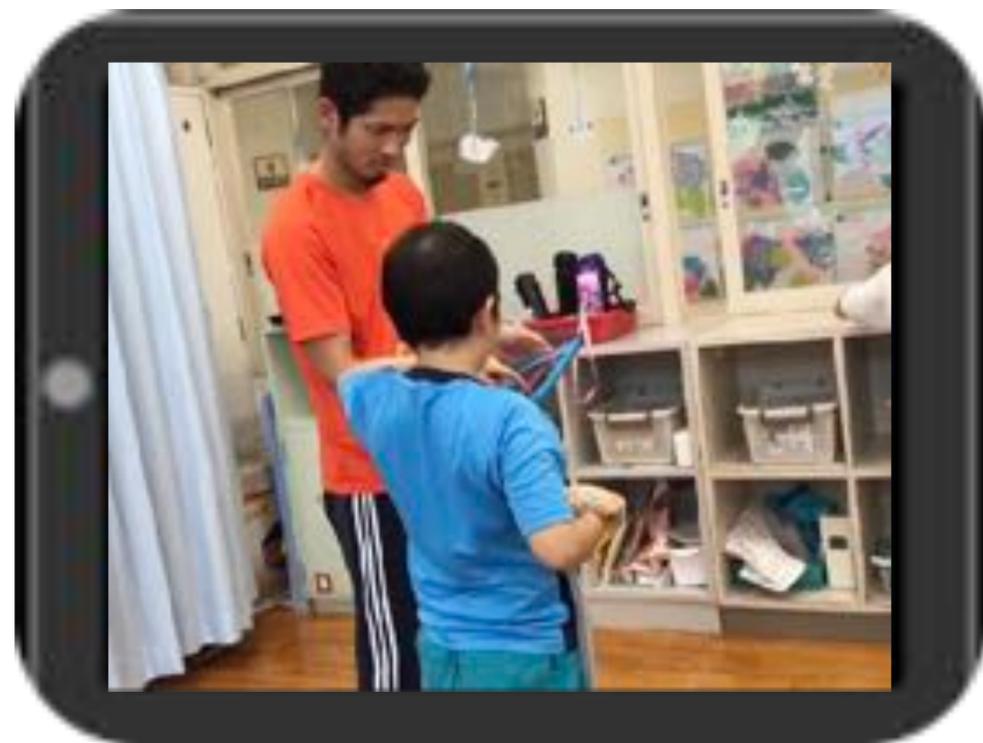
動画

教師と一緒にタイマーをセット

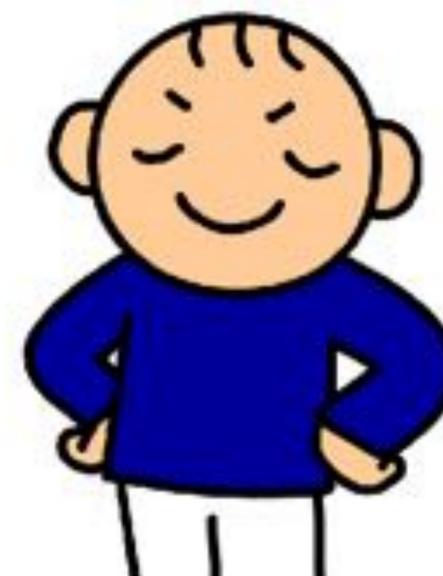
その後、急いで支度を始める

## 指導の様子

タイマーを使って時間内に支度を終えた動画を見せてみた



僕やればできるから



必要感を感じるきっかけ



## 指導の様子

これまで時間を気にせずのんびりと活動していたAさん



教師が声をかけタイマーをセットすることで  
様々な活動でテキパキと活動することができるようになってきた

根本的な解決には至っていない

教師が声をかけなかったら

「iPadを見忘れる」「他の事に注意が向く」という問題がある

# 指導の様子



## Google Keep

色分け・通知可能なメモアプリ



ピピピッ！

朝の活動だ！！



# 指導の様子



## あさのしたく

- タイマーをセット
- 連絡帳を出す
- タオル
- きがえ
- 洋服チェック

「時間内にリストが終えられるように」とAさん自身が考えて追加

これでいける！



+ リストアイテム

## 指導の様子

6月初旬 iPadを操作して自分から支度を始めるAさん

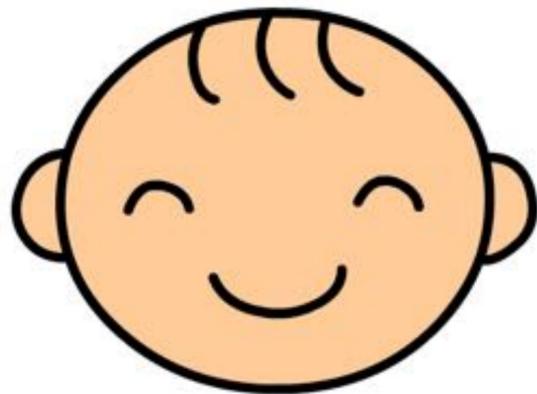
### 動画

iPadの通知音に気づき、自分でGooglekeepを確認後、タイマーをセットし支度を始める様子

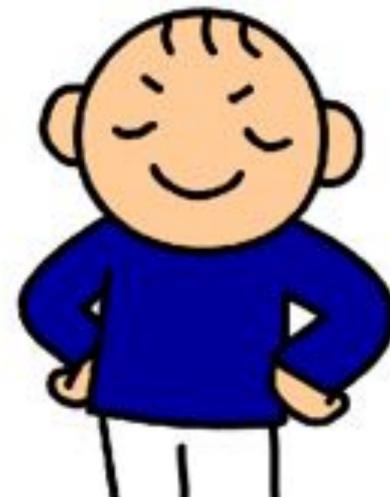
# 指導の様子

6月中旬ごろ

昨日は15分でできたから  
今日は14分でやる！



みんな遅いよ！  
早くして！



何時になったら  
授業始まるの？



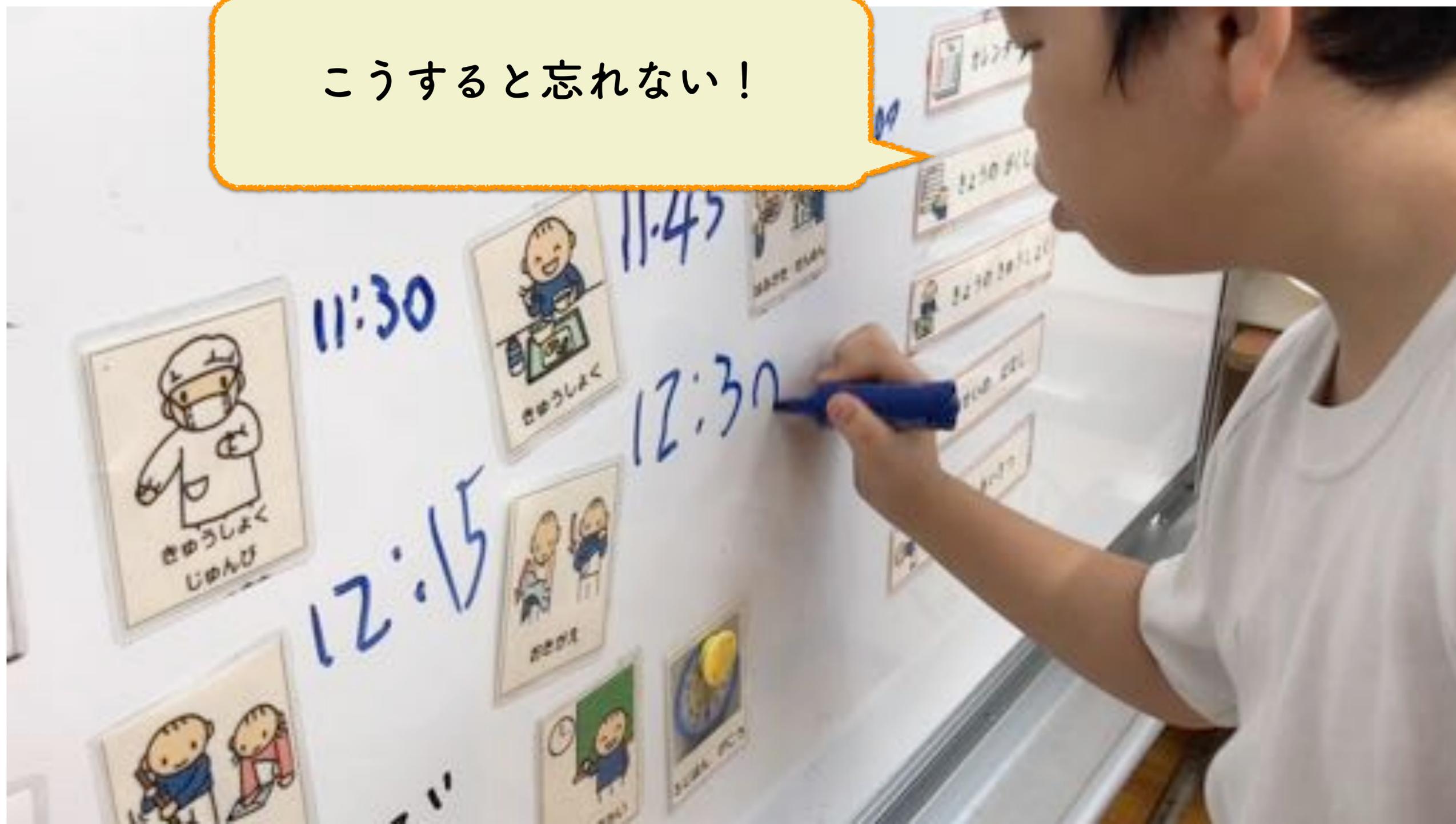
時間を忘れがちだったAさんが時間を意識するようになってきた



## 指導の様子

ある日、ホワイトボードに時間を書き込み始めた

こうすると忘れない！



## 指導の様子



### Google カレンダー

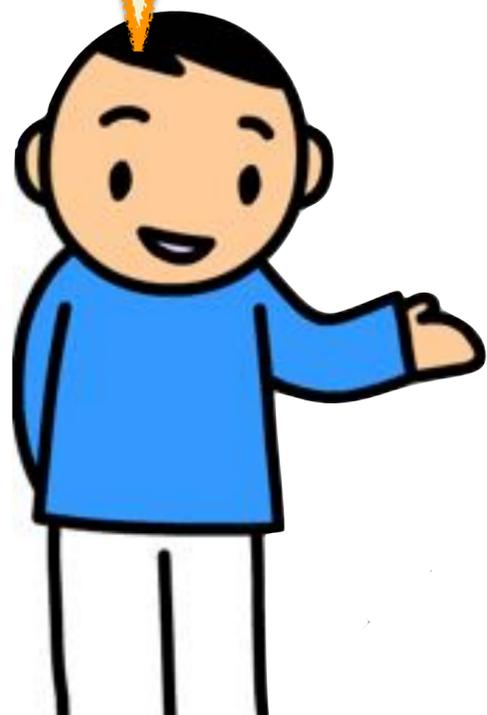


自分の好きな遊びや授業の予定を入れて、その時間の通知が来たら自分から活動を始められるように、スケジュール管理してみよう

好きな勉強から入れる！

# 指導の様子

「通知」って言って  
予定の時間を先に教えて  
くれるんだよ



このマークなに？

これ使う！



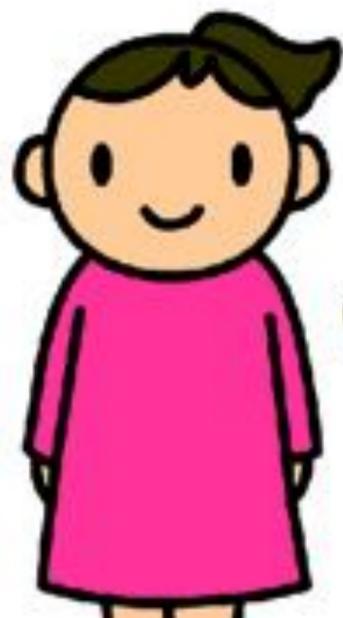
## 指導の様子

7月 通知を聞いてiPadを終えるAさん

動画

## 指導の様子

7月の面談で保護者からこんな話が・・・



最近「〇〇やってね」と言うと「〇〇分になったらやるよ」と言うんです。今まではすぐに動いてくれたのに。困ってます。学校でiPadを使ってスケジュールの勉強しているからでしょうか？

保護者の困り感ではあるが、視点を変えるとAさんの成長では？！

## 指導の様子

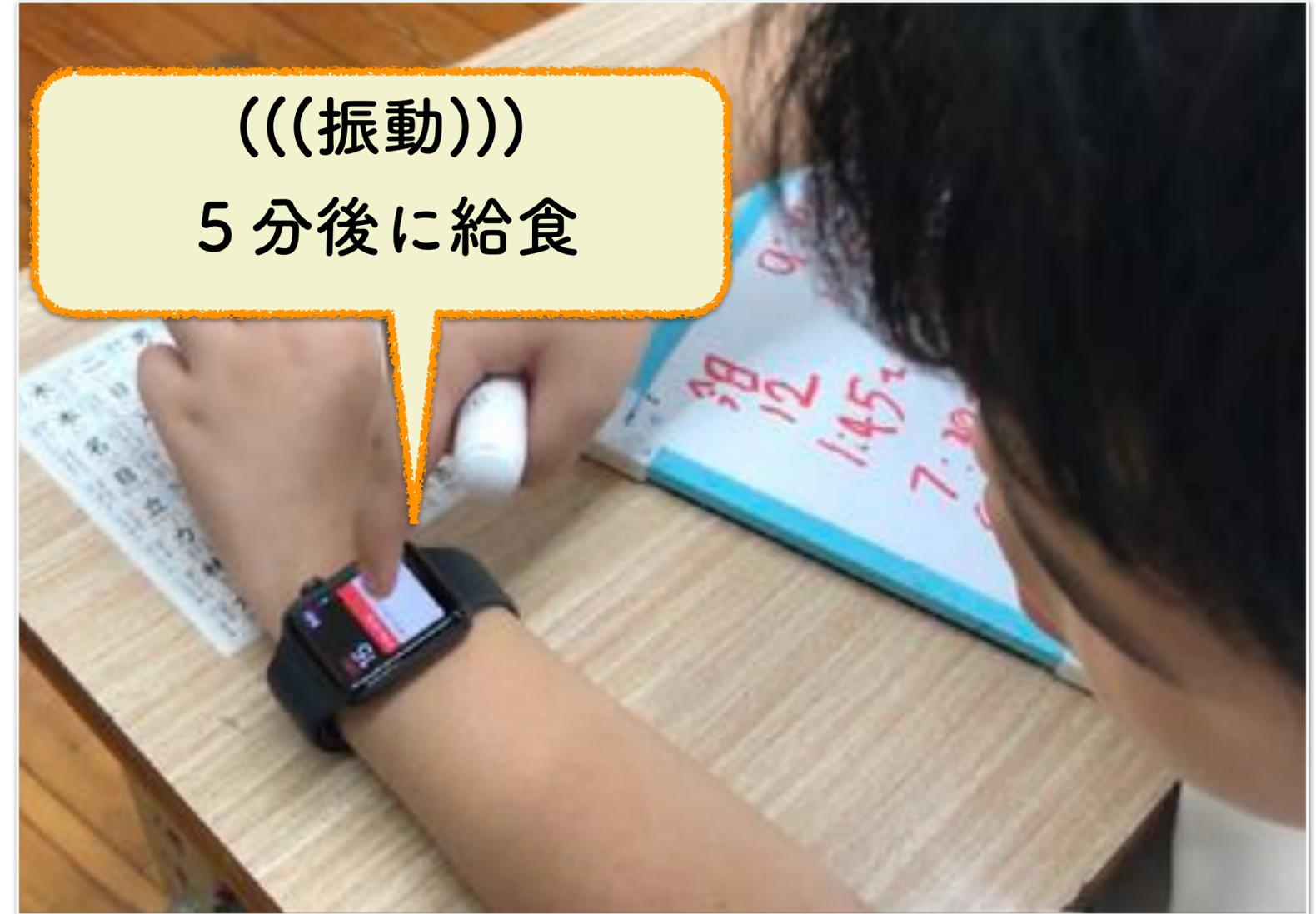
9月以降はより携帯性の高いApple Watchを活用



### Apple Watch

iPadのカレンダーと同期させることで、設定した予定を画面と振動で通知してくれる。

## 指導の様子



「ブルッ！」と震えるプッシュ機能は注意が  
それやすいAさんにとって非常に有効！

## 指導の様子

9月 Apple Watchの通知を聞いて遊びを終えるAさん

動画

Apple Watchの通知を聞いて遊びを終え  
次の授業準備をするAさん

## 指導の様子

10月 Apple Watchの通知で忘れることがほとんどなくなった！！



給食

洗面

着替え

活動に取りかかっても、つい注意がそれて滞る場面では

自分で考えてタイマーをセットするようになった

# 指導の様子

11月以降 Apple Watchを家庭に持ち帰り  
スケジュール管理を家庭生活に広げる



12月19日(木)	
7:30	がっこうに行くじゅんぴ
7:45	おはよう
8:00	おうちをでる
8:05	
9:00	あさのきがえ
9:10	
10:40	たいいく
11:40	
11:25	ぎゅうしょく
12:25	
14:00	くらぶ
15:00	
15:05	帰りの会
15:25	
19:30	お風呂に入る
20:00	読まれた本が 目録
20:30	ねるじかん
21:30	読まれた本が 目録

帰りが遅い月火水はお風呂は19時半で  
他の日は19時にする



家庭生活上で忘れがちな予定やその時間は  
全てAさんが自分で考えて入れた

12月19日のスケジュール

## 指導の様子

11月 お家でApple Watchの通知を聞いてお風呂に向かうAさん

動画

Apple Watchの通知を聞いて遊びを終え  
次の授業準備をするAさん

## 指導の様子

11月 お家でApple Watchが目覚ましで起きるAさん

動画

Apple Watchの通知を聞いて遊びを終え  
次の授業準備をするAさん

# Aさんの変化

## Aさんの変化

### 時間に意識が向かうようになった！

→学校でも家庭でも「〇〇分になったらやる」と言ってタイマーをセットしたり、通知を聞いてお風呂に入ったり登校の準備をしたりする姿が見られるようになった

### 自分自身の困りに向き合い始めている

→ICTに対してゲームや遊びだけではなく、「困りを補うツール」という捉え方をするようになった。「これ（Apple Watch）があるから安心」など。

### 周囲の評価が変わってきた！

→「テキパキと活動するようになったね」と言われるように。

## Aさんの変化



12月の面談で保護者からこんな話が・・・

今まであれだけ言っても動かなかったのに、最近「あ、時間になった」と言ってお風呂に向かったり寝る準備をするようになりました。朝も自分で起きてくれます。Apple Watchを腕に着けて嬉しそうに眺めています。

# Aさんの変化

12月の自己分析

“忘れる”や“時間を守る”が  
苦手なことのまま？

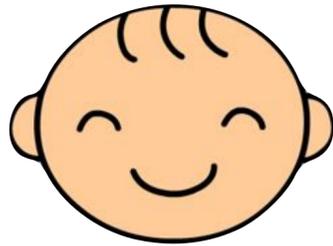


## Aさんの変化



「自分でスケジュールを立てて頑張ってるね。

“時間を守る”は苦手なことではなくなったのでは？」



「苦手だよ。だってApple Watchがないと忘れるから。

でもこれがあれば忘れない。“時間を守る”は苦手だけど得意なこと」

これ（Apple Watch）があれば大丈夫！という**安心感**

困難さを克服というより**困難さを補う**という手段

## Aさんの変化

### Aさんにとってのテクノロジーの価値

#### 困難さを補う手段

Aさんにとって必要なことはやるべきことの記憶を溜め込むのではなく、その記憶に「アクセス」すること。その手段を持つことができた。

#### 身につけているという 安心感

教えてくれること、気になったら予定を確認できるということが安心感となり、より意欲的に活動できるように。



自立に向けたQOLの向上

ありがとうございました

